令 和 ３ 年 度　事 業 報 告

１　事業概要

令和３年度も、新型コロナウィルスの変異株による爆発的な感染拡大により、ウィルスが身近な脅威として感じられる事態となり、経済社会活動も大きな制約を受けることとなりました。

当センターにおいても、受託事業実績は前年度比微増となったものの、派遣事業実績は前年度下期の落ち込みを回復させるまでには及びませんでした。また、定時総会の縮小開催、ふれあいフェスティバルやボランティア活動が中止となり、普及啓発や就業開拓に関して大きな影響を受けました。

会員拡大については、従来からの高齢者活躍人材確保育成事業による会員募集活動に加え、インターネットを通じた入会手続の導入など、新たな環境への適応を目指した入会促進活動を行い、その結果１６８人が入会しました。

一方、会員の高齢化が進んだことや互助会活動の制限などにより、退会者は１６７人となり、会員数は前年度より１人増となる１，２３７人にとどまり、令和３年度事業目標を達成することはできませんでした。

受託事業についても、コロナ禍による就業機会減少や休止などの影響を受けたものの、まちづくりセンター講座の受託や総務省からの補助金を受けた市民向けスマホ講習事業の実施など新規事業の拡大に努めた結果、請負・委任と派遣事業を合わせた受注件数は５，２６１件、契約金額は５８４，３８７千円であり、前年度と比べ受注件数は５６件の増、契約金額は１１，８２３千円の増額となりました。

安全・適正就業については、「安全・適正就業対策基本計画」に基づき、安全・適正就業委員会等の開催、就業現場への巡回パトロール、「安全ニュース」を発行するなどして安全・安心に就業できる環境づくりに取り組みましたが、賠償責任保険適用事故は草払機による飛び石事故等が多発するなどした結果６件の増、団体傷害保険適用事故は昨年度と同件数となりました。

以上が事業の概要であり、令和３年度の事業活動の内容は以下のとおりです。

２　事業活動の内容

（１）会員の入退会状況

ｱ　会員数（第２次会員 100 万人達成計画　令和３年度目標　会員数 1,370 人）

区分	令和３年度	令和２年度	入会者	退会者	増減	前年度比
男　性	900 人	898 人	115 人	113 人	2 人	100.2%
女　性	337 人	338 人	53 人	54 人	△1 人	99.7%
合　計	1,237 人	1,236 人	168 人	167 人	1 人	100.1%

ｲ　入会理由

入会理由	人数	比率
生きがい、社会参加	65 人	38.7%
仲間づくり	13 人	7.7%
時間的余裕	26 人	15.5%
健康維持	20 人	11.9%
経済的	23 人	13.7%
その他	21 人	12.5%
合　計	168 人	100.0%

ｳ　退会理由

退会理由	人数	比率
病気	53 人	31.7%
ｼﾙﾊﾞｰを通じて就職	0 人	0.0%
他で就職	15 人	9.0%
死亡	7 人	4.2%
転居	5 人	3.0%
希望する仕事なし	9 人	5.4%
就業機会なし	4 人	2.4%
家庭の事情	13 人	7.8%
会費未納	8 人	4.8%
加齢	46 人	27.5%
他団体へ加入	0 人	0.0%
ｾﾝﾀｰ運営に不満	1 人	0.6%
未回答	0 人	0.0%
その他	6 人	3.6%
合　計	167 人	100.0%

（２）請負・委任事業実績（独自事業含む）

区　　分	令和３年度	令和２年度	増 減	前年度比
受 注 件 数	5,181 件	5,119 件	62 件	101.2%
契 約 金 額	520,331 千円	504,059 千円	16,272 千円	103.2%
就業延人員	121,267 人日	116,470 人日	4,797 人日	104.1%
就業実人員	1,016 人	972 人	44 人	104.5%
就　業　率	82.1%	78.6%	3.5ﾎﾟｲﾝﾄ	

（３）シルバー派遣事業実績

区　　分	令和３年度	令和２年度	増 減	前年度比
受 注 件 数	80 件	86 件	△6 件	93.0%
契 約 金 額	64,056 千円	68,505 千円	△4,449 千円	93.5%
就業延人員	12,251 人日	14,057 人日	△1,806 人日	87.2%
就業実人員	95 人	115 人	△20 人	82.6%

（４）総合就業実人員（請負･委任+派遣）

区　　分	令和３年度	令和２年度	増 減	前年度比
総 合 就 業 実 人 員	1,085 人	1,059 人	26 人	102.5%

※総合就業実人員＝請負･委任事業等及び派遣事業のいずれかで就業した会員の実人員数

（５）有料職業紹介事業実績

区　　分	令和３年度	令和２年度
契　約　件　数	２件	３件
就　職　人　数	４人	６人
手　　数　　料	134 千円	85 千円

（６）組織活動

ア　総　会（ホワイトパレス）

開催回	開　催　日	議　　題　　等
第 72 回	令和 3 年 6 月 19 日(土) 午前 10 時～ ※新型コロナウィルス感染拡大防止のため、委任状の提出を推奨し、規模を縮小して開催	・　令和２年度事業報告について ・　令和２年度決算について ・　令和３年度事業計画について ・　令和３年度収支予算について ・　役員(理事・監事)の選任について

ｲ　理事会（富士市高齢者就業センター）

開催回	開　催　日	議　　題　　等
第278回	令和3年5月19日(水) 午後1時30分～	・　令和２年度事業報告について ・　令和２年度決算について ・　非常勤職員の給与、勤務時間、休暇等に関する取扱要領の一部を改正する要領の制定について ・　第72回定時総会の開催方法等の変更について ・　その他
第279回	令和3年6月19日(土) 午前11時03分～	・　理事長・副理事長・常務理事の選任について
第280回	令和3年7月21日(水) 午後2時45分～	・　令和３年度事業の中止・変更について ・　会員安全・適正就業基準の改正について ・　その他
第281回	令和3年9月22日(水) 午後1時30分～	・　令和４年度配分金見積基準額の改正について ・　配分金見積基準額と支払配分金額に著しい乖離が生じた事案について ・　令和３年度補正予算（案）について ・　その他
第282回	令和3年12月3日(金) 午後1時30分～	・　インボイス制度が施行された場合の具体的対応策について ・　その他
第283回	令和4年1月31日(月) 午後1時30分～	・　令和３年度収支補正予算（第2号）について ・　女性委員会設置規程の制定について ・　その他
第284回	令和4年3月16日(水) 午後1時30分～	・　令和３年度収支補正予算（第3号）について ・　令和４年度事業計画について ・　令和４年度収支予算について

ｳ　部会・委員会等の活動状況

名　　称	回数	参加延人数
総務部会	5回	34人
事業部会	5回	35人
会報編集委員会	8回	37人
安全・適正就業委員会	6回	88人
女性部会発足に向けてのワーキンググループ会議	1回	8人
女性委員会	1回	8人

ｴ　地域支部等の活動状況

名　　称	回数	参加延人数
富士南支部	2 回	42 人

ｵ　職群班の活動状況

名　　称	回数	参加延人数	名　　称	回数	参加延人数
みどり友の会	1 回	13 人	公民友の会	1 回	28 人
整輪会	1 回	43 人	ｼﾙﾊﾞｰﾗｲﾌｻﾎﾟｰﾄ部会	1 回	19 人

（７）普及啓発活動

新型コロナウィルス感染拡大防止のため、ふれあいフェスティバルをはじめ、多くの行事が中止となりましたが、次の取組を通じて普及啓発活動に努めました。

ｱ　会報「シルバーふじ」の発行　（３回）　4 月･8 月･1 月

ｲ　市内高齢者スポーツ団体を対象とした普及啓発活動　10 月期

ｳ　会員募集チラシを新聞に折り込み、富士市内に 55,000 枚を配布　10 月 16 日

ｴ　市広報紙「広報ふじ」に会員募集特集記事掲載　10 月 20 日

ｵ　シニア向けイベントに出展、併せて就業希望者向けセミナー出演　11 月 27 日

ｶ　フリーペーパー２紙にセンター特集記事掲載　１月期・３月期

ｷ　ローカルＦＭによるＣＭ放送　8 月～

ｸ　富士郵便局におけるデジタルサイネージ広告　11 月～

ｹ　地方紙２紙への会員募集広告掲載　毎　月

ｺ　女性委員会発足　3 月 8 日

ｻ　シルバーポイント制度を活用した会員の声掛けによる勧誘活動　随　時

ｼ　ハローワークやＮＰＯ法人等との連携　随　時

ｽ　地方紙などへの報道提供　随　時

（８）会員の研修・講習

研修等名称	回数	受講者数	内　　容
入会説明会 新入会員研修会	24 回	154 人	入会希望者へセンターの説明ほか
特別入会説明会	11 回	126 人	高齢者活躍人材確保育成事業(市民向け技能講習)最終日におけるセンターの説明ほか
Web 入会説明	－	22 人	ホームページ閲覧による入会希望者へセンターの説明ほか
キャリアアップ講習	1 回	56 人	シルバー派遣就労会員対象（在宅学習方式）

（９）役職員の研修

富士市長を招き、役員がセンター事業や市政について研修及び意見交換を行いました。（7 月 21 日）

(10) 就業機会の拡大

ｱ　就業機会創出員等が発注先を訪問し就業開拓に努めました。

公共関係	民間事業所	一般家庭	計
11 件	76 件	10 件	97 件

ｲ　就業機会創出員等が、県シ連就業開拓担当職員とともに市内信用金庫本･支店、商工会等を訪問し、顧客へのセンター紹介依頼を行いました。

ｳ　全会員に仕事情報を配付しました。　8 月・1 月

ｴ　ホームページ及びセンター掲示板にて仕事情報を公開　（月 2 回更新）

ｵ　理事長ほか役員が富士市長及び富士市議会議長を訪問し、公共事業発注の確保及びセンター事業に対する支援について要望活動を行いました。（10 月 18 日）

ｶ　植木剪定作業利用者の利便性向上と作業効率化のため、前年度受注実績のある発注者から、郵便はがきによる植木剪定予約受付を実施しました。

ｷ　会員が講師となって、市民向け「デジタル活用支援講習会」（初心者向け無料スマホ講習）を実施しました。（総務省　デジタル活用支援推進事業補助金対象）

ｸ　新規事業として、富士市からまちづくりセンター講座を受託しました。

(11) 高齢者活躍人材確保育成事業（厚生労働省静岡労働局委託事業）への取組

（公社）静岡県シルバー人材センター連合会が主催する地域の高齢者を対象とした技能講習会を１１コース開催し、３９人がセンターに入会しました。

(12) 利用者向けデジタル活用支援事業への取組

総務省の助成を受け、会員が講師となってデジタル活用に不安のある高齢者等の解消に向けたスマートフォン講習会を実施しました。

(13) 安全・適正就業対策及び健康管理の推進

安全・適正就業を推進するため、第２次安全・適正就業対策基本計画に基づき次の事業を実施しました。なお、新型コロナウィルス感染拡大予防のため令和２年度に引き続き「健康づくり講座」「いたわり交通安全教室」については中止しました。

ｱ　安全・適正就業パトロール指導員等による個別訪問件数

公共関連事業	民間事業所	一般家庭	計
44 件	205 件	22 件	271 件

ｲ　定期健康診査等の受診を奨励し、受診率の向上を図りました。

ｳ　安全・適正就業委員会による重点パトロールを実施しました。（年３回）

ｴ　安全啓発に関する「安全ニュース」を全会員に配付しました。（年３回）

ｵ　安全就業ワッペン着用キャンペーンを展開しました。（７月）

ｶ　安全標語の募集とヒヤリハット事例の収集を行いました。

ｷ　安全就業チェックシートを活用し、安全意識の向上を図りました。

ｸ　発注先で就業状況を確認するとともに「適正就業ガイドライン」を配付し、自主点検表などにより契約の適正化に向けた提案・調整を図りました。

ｹ　「安全・適正就業のしおり」を新入会員に配付しました。

ｺ　回転刃草払機による飛び石事故防止のため、ハサミ切式草払機を導入し、会員への貸出を開始しました。

(14) 保険適用事故の件数

令和３年度にシルバー保険（団体傷害保険、賠償責任保険）の保険金を受けた事故の件数は以下のとおりです。

ア　団体傷害保険適用事故　　（　）内は前年度の件数

区　　分	男	女	計
就 業 中	6 件（7 件）	3 件（1 件）	9 件（8 件）
就業途上	2 件（2 件）	1 件（2 件）	3 件（4 件）
計	8 件（9 件）	4 件（3 件）	12 件（12 件）

イ　賠償責任保険適用事故　　（　）内は前年度の件数

区　　分	男	女	計
就 業 中	10 件（5 件）	1 件（0 件）	11 件（5 件）
就業途上	0 件（0 件）	0 件（0 件）	0 件（0 件）
計	10 件（5 件）	1 件（0 件）	11 件（5 件）

(15) 相談活動

ア　入会相談

センターに来所した高齢者にシルバー人材センターの理念や仕組みを説明し、臨時的かつ短期的または軽易な業務への就業を希望する相談者延 277 人に入会説明会への参加を案内しました。

イ　会員なんでも相談

毎月、第４木曜日を「会員なんでも相談日」とし、未就業の解消やセンター運営の参考とするため、会員を対象とした予約制の相談を実施しました。

(16) 調査研究活動

ア　理事会において事業実績等を検討し、事業運営の改善を図りました。

イ　全会員に会員状況の調査を実施し、就業中の会員には安全・適正就業に関する就業状況の確認などを行いました。

(17) 奉仕活動

コロナウィルス感染拡大防止のため、奉仕活動はすべて中止となりました。

(18) 独自事業

ｱ　富士市高齢者就業センターを拠点に５つの文化教養講座を開講しました（新型コロナウィルス感染拡大防止のため２月から３月の間は休止）。

ｲ　認可外保育施設「ひよこクラブ」を富士市高齢者就業センターのプレイルームで運営し、１歳から４歳までの未就園児を対象とした託児事業を行いました（新型コロナウィルス感染拡大防止のため、９月及び２月から３月の間は休止）。